

グループホーム安養 西

地域密着型サービス自己評価票（網掛け部分は外部評価も行う調査項目）

※取組んでいきたい項目には「1」が入っています。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
I	理念に基づく運営	1～5 (自己№1～24・外部№1～14)		自己評価24項目・外部評価14項目	1	
I 理念に基づく運営	1	理念の共有(自己№1～3・外部№1～2)		自己評価3項目・外部評価2項目	0	
	1	1 外部評価1	○ 地域密着型サービスとしての理念【外部評価】 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	毎年、事業計画を作成し、その方らしく暮らしていただくための事業所理念を作っている。	0	
	1	2 外部評価2	○ 理念の共有と日々の取り組み【外部評価】 管理者と職員は、理念を共有し理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理解できており、日々実現に向けて取り組んでいる。	0	
	1	3	○ 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	入居時また運営推進会議内でも説明を行うと共に、玄関にも明示している。また、月に一度の通信、壁新聞の作成にても理解していただく場としている。	0	
	2	2	2 地域との支え合い(自己№4～6・外部№3)	自己評価3項目・外部評価1項目	0	
	2	4	○ 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	法人主催の行事や地域の行事に相互に参加できるよう連携を図りながら取り組んでいる。	0	
	2	5 外部評価3	○ 地域とのつきあい【外部評価・重点】 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	法人の施設内に校区のリサイクルボックスを設置し、交流を図ったり、地域の夏祭りなどの活動にも参加させていただいている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
Ⅰ 理念に基づく運営	2 支地 域合 いの	6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所々職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	共用型デイサービスの展開をし、地域の高齢者の暮らしを支援している。また、昨年末の地域の餅つきは運営推進会議において出た意見を取り込み、法人の施設を提供し開催した。	0	
	3	理念を実践するための制度の理解と活用(自己№7～11・外部№4～7)		自己評価5項目・外部評価4項目	1	
	3 理念を実践するための制度の理解と活用	7 外部評価4	○評価の意義の理解と活用【外部評価・重点】 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前年度の改善点を中心に協議し、改善に取り組んでいる。	0	
		8 外部評価5	○運営推進会議を活かした取り組み【外部評価・重点】 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	月行事の実施報告を始め、入居者現況、地域活動の報告や協議の場としている。その他サービスへの要望を聞く機会としている。	0	
		9 外部評価6	○市町村との連携【外部評価・重点】 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	実施が無い	1	市町村関係者の出席が無いため、働きかけを行っていききたい。
		10 外部評価7	○権利擁護に関する制度の理解と活用【外部評価・追加】 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	パンフレットを活用し周知や支援に取り組んでいる。1名利用をされておられる。他の方に関しても周知を図っていききたい。	0	
		11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	マニュアルにて周知を図っている。	0	研修等に参加し更に知識習得を図っていききたい

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
I 理念に基づく運営		4	理念を実践するための体制(自己№12～18・外部№8～10)	自己評価7項目・外部評価3項目	0	
		12	○ 契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約前から自宅に訪問したり、出来る限り時間をとり、話すことを努めている。	0	
		13	○ 運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	日々生活の中において聴きだせることが出来るように配慮している。又運営推進会議においてもその活用場としている。	0	
	4	14 外部評価8	○ 家族等への報告【外部評価・重点】 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	常に、家族の不安解消のため、報告は来設時に口頭で、また緊急を要する場合は電話連絡にてこまめに報告をしている。遠方の家族には定期的に電話連絡を入れている。加えて、運営推進会議でも報告の場を持っている。	0	
		15 外部評価9	○ 運営に関する家族等意見の反映【外部評価・重点】 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	来設時等において、こちらからもお伺いする姿勢をもって対応している。また運営推進議は全家族を対象としており、ご家族が必然的に来設される様配慮し、その都度の来設時には気軽に参加できるよう声掛けを行っている。	0	
		16	○ 運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	年に2回の個人面談を行い、意見、提案を聞く機会を設けている。また自己申告シートを作成し、より職員個々の思いを聴取できるように取り組んでいる。	0	
		17	○ 柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	利用者の状況変化に応じ、勤務時間の調整を行ったり、人員配置の見直しを行っている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
I 理念に基づく運営	4 理 念 め の 実 践 制 す	18 外 部 評 価 10	○ 職員の異動等による影響への配慮【外部評価】 運営者は利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の体調不良等で休職希望や異動希望が多く、職員の入れ替わりがあるが、必要最低限に抑えようと共に、代替スタッフについては認知症に知見のある者を補うよう心掛けている。	0	
	5	人材の育成と支援(自己№19～24・外部№11～14)		自己評価6項目・外部評価4項目	0	
	5 人 材 の 育 成 と 支 援	19 外 部 評 価 11	○ 人権の尊重【外部評価・追加】 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	職員の年齢層も幅広く、特段の制限は設けていない。その職員の出来ることを最大限に生かして勤務できるよう心掛けている。	0	
		20 外 部 評 価 12	○ 人権教育・啓発活動【外部評価・追加】 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	日々の朝礼や申し送りにおいて取り組んでいる。また業務内においても随時確認を行うべく、個別に話をしたり、内部研修も取り組みの場としている。	0	
		21 外 部 評 価 13	○ 職員を育てる取り組み【外部評価】 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	ミーティングやOJTを活用した内部研修の実施、また外部の研修への参加により、スタッフのスキルアップに努めている。	0	
		22 外 部 評 価 14	○ 同業者との交流を通じた向上【外部評価】 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	ブロックごとの交流会に参加したり、相互の情報提供にてサービスの質の向上に努めている。また研修等の機会により、相互間での施設実習をおこなった。	0	
		23	○ 職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	仕事以外で個別に食事をしたり、新年会、忘年会が行われている。また、有給取得率も多く心身的に休むことが出来るよう配慮している。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
	5 と人 支材 援の 育成	24	○ 向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	日々、話をする機会をもったりしながら、研修参加の促しなどを啓発としている。また、人事考課を設け、向上心の維持向上に取り組んでいる。	0	
II 安心と信頼に向けた関係作りと支援 1～2 (自己№25～34・外部№15～16)				自己評価10項目・外部評価2項目	0	
II 安心と信頼に向けた関係作りと支援	1 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 (自己№25～28・外部№15)		自己評価4項目・外部評価1項目	0	
		25	○ 初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	本人に聞く機会を持ち、ケアプランに反映させ、利用者のニーズに応える努力をしている。	0	
		26	○ 初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	電話連絡や訪問による機会を作り、積極的に、また事前に家族の意見を聞く機会を持ち、不安解消に努めている。	0	
		27	○ 初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用者の健康状態、精神状態の把握に努め、必要であれば介護保険以外のサービス利用も視野に対応している。	0	
		28 外部評価15	○ 馴染みながらのサービス利用【外部評価】 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	事前にホームに来所いただいたり、契約、入居前に自宅等に訪問したりしている。	0	
	2 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 (自己評価№29～34・外部評価№16)			自己評価6項目・外部評価1項目	0	
	係り2 継続 への ま まで の 支 援	29 外部評価16	○ 本人と共に過ごし支えあう関係【外部評価】 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	実施できている。	0	行事等に限らず、日々の取り組みの中でもより多くの機会を持ちたいと考えている

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
II	安心と信頼に向けた関係作りと支援	2	新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
		30	○ 本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	年に一度の一泊旅行や家族会を通じ、本人と接する機会を持ち、本人の状態を知っていただき、家族を交えた支援を心掛けている。	0	
		31	○ 本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	入居の際に十分にこの点についても説明をさせて頂いている。来設時や受診時など出来る限りご本人とご一緒頂き、一緒に時間を過して頂く事により今のご本人を知って頂くように支援している。また、自宅への外泊を勧め、家族だけの時間が持てる様支援している。	0	
		32	○ 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族の協力の下、出来る限り支援させて頂いている。また、以前利用されていた併設のデイサービスへ行き、馴染みの方との交流が出来るよう支援している。	0	
		33	○ 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	ケアの基本としている。	0	
		34	○ 関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	契約終了後も次利用サービスの相談、助言に努めている。	0	
III	その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント 1～4 (自己№35～51・外部№17～22)			自己評価17項目・外部評価6項目	1	
	1	一人ひとりの把握(自己№35～37・外部№17)		自己評価3項目・外部評価1項目	0	
	1	35	○ 思いや意向の把握【外部評価】 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の生活の中において、観察や会話の中から把握する事ができるよう努め、またそれをミーティングで取り挙げて検討している。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	1 一人ひとりの把握	36	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居以前よりご家族の方からも生活歴等の情報を聴取させていただき、把握に努めている。	0	
		37	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	実施できている	0	
	2	本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し (自己№38～40・外部№18～19)		自己評価3項目・外部評価2項目	0	
	2 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	38 外部評価18	○チームでつくる利用者本位の介護計画【外部評価】 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	日常的にも話を持ちながらご本人・ご家族の希望を下に作成を行っている。ご家族には来設の際など家族面談を行わせていただいている。	0	
		39 外部評価19	○現状に即した介護計画の見直し【外部評価】 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヶ月に1度の作成・更新を行っている。また入退院や状態変化の際は計画の見直しを心掛けている。	0	
		40	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	利用者記録やケアプランチェック表・申し送りノートを活用し具体的に記録に残すように心掛けています。	0	
	3	多機能を活かした柔軟な支援(自己№41・外部№20)		自己評価1項目・外部評価1項目	0	
	3 柔軟な支援	41 外部評価20	○事業所の多機能性を活かした支援【外部評価】 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	出来る範囲取り組ませて頂いている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4		本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 (自己№42～51・外部№21～22)	自己評価10項目・外部評価2項目	1	
	4 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	42	○ 地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	日常の中において校区の方の協力・支援体制ができています。	0	
		43	○ 他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話しあい、他のサービスを利用するための支援をしている	併設施設の利用支援が多い。	0	
		44	○ 地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	実施がない	1	協働に向けて取り組んでいきたい。
		45 外部 評価 21	○ かかりつけ医の受診支援【外部評価】 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医療機関のみでなく、ご家族との相談の上で適切な医療機関を受診している。	0	
		46	○ 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	ご家族と相談の上、地域の専門医へ相談受診も協力医療機関と併行して行っている。	0	
		47	○ 看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	常勤看護師、協力医療機関の看護師、訪問看護師との協働の上、支援できている	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	48	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	実施できている	0	
		49 外部評価22	○重度化や終末期に向けた方針の共有【外部評価】 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	ご家族に対しては、看取りの指針を作成しこれを基とし、入居時等に説明させていただき共有に努めている。またご本人の状態に合わせ、主治医やスタッフとそのあり方について共有を図っている。	0	
		50	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	ご家族、協力医療機関と協議を重ね、訪問看護サービスを利用をはじめ、利用者の変化に都度対応を検討している。	0	
		51	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	早い段階からご家族との連携を密にし、ご家族含めた関係者間の話合いの時間を出来る限りもつようにしている。	0	
Ⅳ その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1～2 (自己№52～89・外部№23～33)				自己評価38項目・外部評価11項目	1	
Ⅳ その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援 (1)～(5) (自己№52～81・外部№23～30)			自己評価30項目・外部評価9項目	1	
	1 その人らしい暮らしの支援	(1) 一人ひとり尊重(自己№52～54・外部№23～24)		自己評価3項目・外部評価2項目	0	
		52 外部評価23	○プライバシーの確保の徹底【外部評価】 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	マニュアルの作成の基、同意書作成し誓約を行っている。	0	常に配慮していきたい
		53	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をする	出来ている	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
IV	1	54 外部評価 24	○ 日々のその人らしい暮らし【外部評価】 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ケアの基本としている。また、随時業務手順やスタッフの行動等については見直し、確認作業を行っている	0	
		(2)	その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 (自己№55～60・外部№25～26)	自己評価6項目・外部評価2項目	0	
		55	○ 身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	月に1度、求職する移動理美容サービスをはじめ、その他地域の床屋、美容室にて本人の希望に添った髪型ができるよう支援している。	0	
		56 外部評価 25	○ 食事を楽しむことのできる支援【外部評価】 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員全員が利用者と同一食事を食べ、また食器や箸、スプーン等の道具は個々の状態に合ったものを提供し、片付けにおいても、スタッフ、利用者一緒に行っている。	0	
		57	○ 本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	健康状態に応じてあるが個々の嗜好品の把握、提供に努め、家族にも持参の依頼をしている。	0	
		58	○ 気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	日中、夜間通して個人の排泄パターンに沿ってトイレ誘導、オムツ交換を行っている。個別の対応として排泄をスムーズに行って頂く為、食品・飲み物も配慮している。またオムツや下着の種類も本人に一番合ったものを選ぶようにしている。	0	
		59 外部評価 26	○ 入浴を楽しむことができる支援【外部評価】 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴前は必ず本人に希望を聞き、無理を強いないように配慮している。また、入浴日を固定せず、希望があるときは随時提供できるよう心掛けている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	60	○ 安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	その時々状態(バイタル等)により、自室のベッドやリビングソファにて休息を勧めている。	0	
		(3)	その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 (自己№61～66・外部№27～28)	自己評価6項目・外部評価2項目	0	
		61 外部評価27	○ 役割、楽しみごと、気晴らしの支援【外部評価】 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者の趣味、嗜好を通して楽しみごとの提供やストレスの解消に努めている。	0	
		62	○ お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご本人家族の意向もあり、2名の方が所持されている。買物の際等一緒にレジに並んでいただいたり金銭扱いに触れる機会を持っていただくようにしている。	0	出来る範囲意識して金銭取り扱いから遠ざかることの無いように意識していきたい
		63 外部評価28	○ 日常的な外出支援【外部評価】 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	希望があれば随時買物や散歩ができるよう利用者の意見を聞いている。	0	
		64	○ 普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	年に一度家族同行で一泊旅行に出かけたり、月行事で普段味わうことのない外出も実施している。	0	
		65	○ 電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	自室に電話機の設置され家族と会話を持ったりしていただいている。時期によって家族へ葉書を書いていただくなど支援している。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	66	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるように工夫している		0	
		(4)	安心と安全を支える支援(自己№67～74・外部№29～30)	自己評価8項目・外部評価2項目	1	
		67	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束防止マニュアルを作成し拘束防止に努めている。	0	
		68 外部評価29	○鍵をかけないケアの実践【外部評価】 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関は自動ロックで日中も鍵がかかった状態であり、課題である。しかし、利用者の状態把握に随時努め、希望がある際は職員同行で外出している。	1	
		69	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	出来ている	0	
		70	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	保管場所の取り決めをし、管理している。	0	
		71	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	マニュアルを作成しての周知、また随時確認作業を行っている。起こった事故等に関しては、書類(ひやりはっと・インシデント・事故報告書)に記入し全スタッフにて共有する事とし振り返りを行っている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
IV	1	72	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	日中夜間の利用者の急変時に備え看護師も含め、緊急時対応のミーティングを行っている。	0	
		73 外部評価 30	○災害対策【外部評価】 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	施設内での避難訓練は定期的に行っており、また、法人の施設が地域の避難場所になっている。	0	
		74	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	個人の状態に応じ、家族ヘリスクの説明、対策を考え、同意いただいている。	0	入退院など健康状態、精神状態等の変化に伴い、新たなリスクが懸念される際はその都度家族へ説明し、協働いただいている。
		(5)	その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 (自己N°75～81・外部N°31)	自己評価7項目・外部評価1項目	0	
		75	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	バイタルチェックをはじめ、利用者の状態観察に努め、看護師を中心に職員間で情報提供し合っている。	0	
		76	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	主治医、家族を含め話し合い、一人ひとりに適切な薬剤の提供を心掛けている。薬についての情報はファイルにまとめて随時確認するようにし、往診、受診での薬相談、変更を随時視野に入れている。長期間服用している薬は見直す	0	
		77	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	毎日のヨーグルト提供をはじめ、極力自然排便が出来るよう工夫している。個別の対応として排泄をスムーズに行って頂く為、食品・飲み物も配慮している。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
IV	その人らしい暮らしの支援	78	○ 口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	義歯、自歯に合わせ、個々で異なった口腔ケアを推進し、定期、または随時歯科医との連携を図っている。	0	
		79 外部評価31	○ 栄養摂取や水分確保の支援【外部評価】 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量や水分摂取量の記録を残し、状態把握に努め、足りない部分は栄養補助食品にてカバーしている。	0	管理栄養士や医療機関への相談、アドバイスを頂き、その方に合った補助食品の提供に心掛けている。
		80	○ 感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	リビング、居室に加湿器を設置し、風邪予防に努めている。また、手洗い、うがいの励行を行っている。感染症予防のマニュアル作成を行い、共有に努めている。	0	
		81	○ 食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	調理時は食材、調理器具のアルコール消毒に努めた。	0	
	2 その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)～(2) (自己№82～89・外部№32～33)			自己評価8項目・外部評価2項目	0	
	生活環境づくり	2 (1)	居心地のよい環境づくり(自己№82～86・外部№32～33)	自己評価5項目・外部評価2項目	0	
		82	○ 安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	植物を植え、誰もが親しみやすい環境作りに努めている。	0	
		83 外部評価32	○ 居心地のよい共用空間づくり【外部評価】 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用部はカーテンで余分な光を妨げ、またトイレは芳香剤にて不快な臭いを軽減した。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでいる 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	2 その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	84	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングや廊下の空きスペースにソファを置き、一人、または利用者同士で随時使用できるようにしている。また、共用部には図書コーナーを設置し、持ち出し可能とし、自由に読書が出来るようにしている。	0	
		85 外部評価33	○居心地よく過ごせる居室の配慮【外部評価】 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	どの居室も馴染みの家具や生活用品を持ち込んでおり、自分の物に囲まれた空間作りを家族を交えて行っている。	0	
		86	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがなく換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに調整し、過ごしやすい室温設定に努めている。	不快な臭いが充満しないよう、換気扇や窓開放により心掛けている。温度調節は、エアコンをこまめに調整し、過ごしやすい室温設定に努めている。	0	
		(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり(自己№87～89)		自己評価3項目	0	
		87	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	手すり等の設置をおこなっている。また居室内においてはご家族との相談・協力の下危険防止に配慮させて頂いている。また反対に、現設備での生活継続によって身体機能を維持できている面も伺える。	0	
		88	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	常に配慮している。また誤認等の対応については申し送り時や個別になど都度伝達し、統一的に対応している。	0	
		89	○建物の外周や空間の活用 建物の外周やベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	施設内の外庭に小畑を設け、利用者が中心となって園芸や野菜作りができる環境を提供し、利用者の楽しみのひとつとなっている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
Ⅴ サービスの成果に関する項目				取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	該当 番号	
Ⅴ サ ー ビ ス の 成 果 に 関 する 項 目	90	○職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2／3くらいの ③利用者の1／3くらいの ④ほとんど掴んでいない	1		
	91	○利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない	1		
	92	○利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2／3くらいが ③利用者の1／3くらいが ④ほとんどいない	1		
	93	○利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2／3くらいが ③利用者の1／3くらいが ④ほとんどいない	2		
	94	○利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2／3くらいが ③利用者の1／3くらいが ④ほとんどいない	3		
	95	○利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2／3くらいが ③利用者の1／3くらいが ④ほとんどいない	1		
	96	○利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2／3くらいが ③利用者の1／3くらいが ④ほとんどいない	1		
	97	○職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	①ほぼ全ての家族と ②家族の2／3くらいと ③家族の1／3くらいと ④ほとんどできていない	1		
	98	○通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない	3		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
V	サービスの成果に関する項目	99	○運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない	2	
		100	○職員は、生き活きと働けている	①ほぼ全ての職員が ②職員の2／3くらいが ③職員の1／3くらいが ④ほとんどいない	1	
		101	○職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2／3くらいが ③利用者の1／3くらいが ④ほとんどいない	2	
		102	○職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	①ほぼ全ての家族と ②家族等の2／3くらいと ③家族等の1／3くらいと ④ほとんどできていない	1	
V サービスの成果に関する項目				取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	該当 番号	

※ Vサービスの成果に関する項目の該当番号は、選択肢の該当番号を示します。

※ 番号の上位は自己評価の項目番号を指します。外部評価項目は、番号欄に網掛けをして外部評価と表示し、外部評価の項目番号を下に表記しています。

※ 項目の横の重点は、外部評価の調査結果で重点項目として概要表に記載される項目です。

また追加は、福岡県が国の参考例に自己評価から外部評価に加えたり、新たに自己評価も含めて独自に追加した項目などです。